

第 1 回 全国エアロビック交流大会 2014 開催要項(案)

1. 主 旨 全国のエアロビック愛好者が集い、親睦と交流を深めつつ個人の健康増進と生涯エアロビックの普及を図る。全国スポレク祭の後継大会として、年齢を問わず老若男女が参加できる大会とする。
2. 主 催 (公社)日本エアロビック連盟、都道府県エアロビック連盟
3. 後 援 (公財)日本体育協会、大阪府熊取町、東北エアロビック協議会、関東エアロビック協議会、四国エアロビック協議会、九州エアロビック協議会
4. 協 賛 (株)ボディーアート ジャパン、ベンゼネラル(株)ほか (予定)
5. 主 管 全国エアロビック交流大会実行委員会 (予定)
7. 開催期日 平成 26 年 2 月 22 日(土)
8. 会 場 熊取町ひまわりドーム
大阪府泉南郡熊取町久保 5-3-1 JR 阪和線熊取駅下車
(大阪市内から 60 分程度)
9. 競技部門
と実施方法 競技部門は 2 部門とし、それぞれの実施方法は次の通りとする。
(1)エンジョイ・エクササイズ部門
・200 名程度で実施する。
・エアロビック初級者を対象とし、フライト競技と同様にオープンエクササイズ形式で行う。
・BPM120～140 程度の音楽を使用し、技術よりエンジョイ度を評価する。
(2)エンジョイ・チーム部門
・50 チーム程度で実施する。
・エアロビックと各種ダンスを自由に取り入れて 3～15 人のチームで踊る。
技術より服装や振付、チームワーク、パフォーマンス性を評価する。
10. 参加資格 各部門の参加資格は次の通りとする。
(1)エンジョイ・エクササイズ部門
・17 歳以上の男女、個人
・翌日開催の全国フライト選手権大会出場者の参加は不可とする。
(2)エンジョイ・チーム部門
・参加資格は子どもから成人までとし、年齢制限は設けない。指導者の参加も可とする。
11. ルール JAF エンジョイ競技/チーム部門・エクササイズ採点規則による。(別紙)

12. 表彰 各部門の表彰は次の通りとする。
- (1) エンジョイ・エクササイズ部門
MVP 賞、エンジョイ賞、スマイル賞、コスチューム賞、パフォーマンス賞など
 - (2) エンジョイ・チーム部門
MVP 賞、チームワーク賞、オリジナル賞など
13. 参加方法 各部門の参加選手およびチームの参加申込みは、次の通り県連盟の推薦により行う。
- 県連盟は、推薦する個人及びチームを書面またはメールで JAF 事務局に参加申込み手続きを行う。
- 参加申込みは 2 回とし、第 1 次参加申込状況により 2 次募集を行う。
- 第 1 次参加申込締切 10 月 31 日(木)
エンジョイ・エクササイズ部門(各県 10 名程度)
エンジョイ・チーム部門(各県 3 チーム程度)
 - 第 2 次参加申込締切 12 月 20 日(金)
- 参加申込みの手続きの詳細は「全国エアロビック交流大会参加申込案内」を各県連盟に送付する。(各県連盟に 7 月送付予定)
14. 参加料 各部門とも 1 人 2,000 円とする。
(参加料のうち 1,000 円は県連盟が収受)
15. その他 本要項の上記内容については、県連盟設立準備委員会にも適用する。

以上

(お問合せ)
(公社) 日本エアロビック連盟
〒140-0011 東京都品川区東大井 5-7-10 クレストワン 3F
TEL : 03-5796-7521 FAX : 03-5796-7527
全国エアロビック交流大会事務局

エンジョイ競技

④エンジョイ・チーム部門

◆競技概要: エアロビクと各種ダンスや体操、ヒップホップなどを自由に組み合わせた振付を3〜15人で楽しく踊るチーム部門。技術より服装や振り付けチームワークやエンジョイ度、パフォーマンス性を評価する。

⑤エンジョイ・エクササイズ部門

◆競技概要: リーダーの動きに合わせて一斉に動いて行うオープンエクササイズ方式の部門。エアロビク初級者を対象にした参加型の競技で、技術よりエンジョイ度を評価する。

	エンジョイ・チーム部門	エンジョイ・エクササイズ部門
年齢	年齢制限なし	17才以上(大会開催年度の12月31日現在)
構成人数	3〜15人	個人参加
競技エリア	概ね10m x 10m程度	オープンエリアで一斉に実施
演技/競技時間	2分以内	40分程度
服装規定	原則自由。ただし、途中で着脱したりせず、最初から最後まで変わらない服装であること。帽子、スカーフ等の着用も可だが途中落ちたりしないものであること。	
競技方法	<p>◆以下3つの必修動作をルーティンに組み込んで演技する。エアロビクのステップや動作の他、ダンス、体操、ヨガ、フラダンス等とのコラボレーションも可。</p> <p>1. ハイレッグ・キック: 両足を揃えた状態から、軸脚で弾みながら片脚の膝を伸ばしたまま前方(矢上面)に振り上げる。</p> <p>2. プッシュ・アップ: フロアに両手を着き、腕立て伏せを行う。膝付きも可。</p> <p>3. ジャンピング・ジャック: 両足を揃えた状態から、軽くジャンプして左右対称に脚を開いたり、閉じたりする。</p> <p>※それぞれ2回連続で行う。 ※実施順や使用回数は自由。(例:2回連続のジャンピング・ジャックを演技に2回組み込んで可) ※メンバー全員が同じタイミングで2回連続して実施する。ただし、身体の向きや移動は自由。</p>	<p>◆BPM120〜140程度の曲を使用。以下ABCの3つのブロックそれぞれに課題ステップ等を組み込み、リーダーの動きや指示に合わせてエクササイズを楽しむ。音楽のテンポに合わせて、技術レベルに関係なく幅広い年齢層が楽しめるように配慮する。</p> <p>各ブロックのつながりは原則、音楽の変更程度とするが、競技当日の環境を配慮し、適宜休憩を挟むものとする。</p> <p>ウォームアップ (120BPM :5分) ↓ Aブロック: グレーブバイン、レッグカール (120BPM:10分) ↓ Bブロック: シャッセ、ツイスト、ニーリフト (130BPM〜:10分) ↓ Cブロック: ランジ、バランス、ポーズ (120BPM:10分) ↓ ストレッチ (5分)</p> <p>※ A・Bブロックの課題ステップは、16カウント以上反復する。 ※ BブロックとCブロックの前で2回音楽のテンポを変える。</p>
禁止動作	特になし	
審判	審査は、JAF認定審判員または都道府県連盟認定審判員が判定。主任はC級以上 最小審判員数:3名(主任1名、その他2名以上)	

採点基準	<p>◆表現力、エンジョイ度を採点后、上位チームにそれぞれ適した賞名をつけて発表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>点数</th> <th>エンジョイ度</th> <th>評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10.0</td> <td>優れている ★★★★★ ★</td> <td>音楽を活かしたコレオグラフィーやフォーメーション、ウエアが独創的で表現力の高いユニークな作品。メンバー全員が演技を心から楽しんでいて観る人をも魅了するエンジョイ度抜群のパフォーマンス。</td> </tr> <tr> <td>9.0</td> <td>大変良い ★★★★★</td> <td>音楽を活用し、コレオグラフィーやフォーメーション、ウエアなどに多くの工夫が見られる作品。必修動作の創造性も高い。メンバーの一体感が伝わるエンジョイ度の高いパフォーマンス。</td> </tr> <tr> <td>8.0</td> <td>良い ★★★★</td> <td>音楽と動きがマッチ。フォーメーションや必修動作にも工夫が見られる作品。メンバー全員がまとまりよく動いて、チームとしてエンジョイしているパフォーマンス。</td> </tr> <tr> <td>7.0</td> <td>普通 ★★★</td> <td>フォーメーションの変化や必修動作はシンプルだが、全体的にはメンバーのそれぞれが音楽のリズムにのって楽しげに動いているパフォーマンス。</td> </tr> <tr> <td>6.0</td> <td>やや劣る ★★</td> <td>音楽がBGMに近く動きとの関連性が低い。フォーメーションの変化にムリがあったり、全く工夫がなかったりする。表現する意欲も元気さもなく感じられないエンジョイ度の低いパフォーマンス。</td> </tr> <tr> <td>5.0</td> <td>劣る ★</td> <td>音楽が完全なBGMとなってしまう、動きも全く合っていない。フォーメーションは変化せず定位置のまま。個人がバラバラに動いているだけでエンジョイ度がかなり低い残念なパフォーマンス。</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆賞名 ・ MVP賞 ・ チームワーク賞 ・ コリオグラフィー賞 ・ ミュージカルティ賞 ・ パフォーマンス賞 ・ オリジナル賞 ・ スマイル賞 ※大会特別賞など主催者独自の賞もあり。</p>	点数	エンジョイ度	評価内容	10.0	優れている ★★★★★ ★	音楽を活かしたコレオグラフィーやフォーメーション、ウエアが独創的で表現力の高いユニークな作品。メンバー全員が演技を心から楽しんでいて観る人をも魅了するエンジョイ度抜群のパフォーマンス。	9.0	大変良い ★★★★★	音楽を活用し、コレオグラフィーやフォーメーション、ウエアなどに多くの工夫が見られる作品。必修動作の創造性も高い。メンバーの一体感が伝わるエンジョイ度の高いパフォーマンス。	8.0	良い ★★★★	音楽と動きがマッチ。フォーメーションや必修動作にも工夫が見られる作品。メンバー全員がまとまりよく動いて、チームとしてエンジョイしているパフォーマンス。	7.0	普通 ★★★	フォーメーションの変化や必修動作はシンプルだが、全体的にはメンバーのそれぞれが音楽のリズムにのって楽しげに動いているパフォーマンス。	6.0	やや劣る ★★	音楽がBGMに近く動きとの関連性が低い。フォーメーションの変化にムリがあったり、全く工夫がなかったりする。表現する意欲も元気さもなく感じられないエンジョイ度の低いパフォーマンス。	5.0	劣る ★	音楽が完全なBGMとなってしまう、動きも全く合っていない。フォーメーションは変化せず定位置のまま。個人がバラバラに動いているだけでエンジョイ度がかなり低い残念なパフォーマンス。	<p>◆以下の賞名に相応しい選手を複数ピックアップして上位者を発表。発表人数は参加人数や大会毎の条件による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MVP賞 ・ エンジョイ賞 ・ スマイル賞 ・ コスチューム賞 ・ スキル賞 ・ パフォーマンス賞 <p>※ 大会特別賞など主催者独自の賞もあり。</p>
	点数	エンジョイ度	評価内容																				
10.0	優れている ★★★★★ ★	音楽を活かしたコレオグラフィーやフォーメーション、ウエアが独創的で表現力の高いユニークな作品。メンバー全員が演技を心から楽しんでいて観る人をも魅了するエンジョイ度抜群のパフォーマンス。																					
9.0	大変良い ★★★★★	音楽を活用し、コレオグラフィーやフォーメーション、ウエアなどに多くの工夫が見られる作品。必修動作の創造性も高い。メンバーの一体感が伝わるエンジョイ度の高いパフォーマンス。																					
8.0	良い ★★★★	音楽と動きがマッチ。フォーメーションや必修動作にも工夫が見られる作品。メンバー全員がまとまりよく動いて、チームとしてエンジョイしているパフォーマンス。																					
7.0	普通 ★★★	フォーメーションの変化や必修動作はシンプルだが、全体的にはメンバーのそれぞれが音楽のリズムにのって楽しげに動いているパフォーマンス。																					
6.0	やや劣る ★★	音楽がBGMに近く動きとの関連性が低い。フォーメーションの変化にムリがあったり、全く工夫がなかったりする。表現する意欲も元気さもなく感じられないエンジョイ度の低いパフォーマンス。																					
5.0	劣る ★	音楽が完全なBGMとなってしまう、動きも全く合っていない。フォーメーションは変化せず定位置のまま。個人がバラバラに動いているだけでエンジョイ度がかなり低い残念なパフォーマンス。																					
主任減点	<p>・必修動作を行わなかった場合 -1.0/動作(2つ行わない場合は-2.0) ・着衣したものが落ちるなどの服装違反 -0.5/回</p>																						

※エンジョイ・エクササイズ部門のリード方法の具体例をユーチューブで動画配信。

※ エンジョイ・エクササイズ部門における県からの代表者は10名程度を予定。

※各県の代表者・代表チームによる全国大会では別途賞名を検討して該当者・チームを選出し表彰する。全国大会の日程は後日公表。